

せんぱい

令和5年 10月
第70号



こども釣り教室(上野村漁協)

フライフィッシング教室(両毛漁協)

アユ(上野村漁協)

ワカサギ(赤城大沼漁協)

ハコステ(上野村漁協)

昭和30～40年 多々良沼の追い込み漁

昭和59年 利根川アユの放流風景

ヤマメの放流体験(両毛漁協)

写真：群馬県漁連傘下漁協、群馬県水産試験場提供

Information

令和5年度 第64回

全国内水面漁業振興大会

日時：令和5年10月12日(木)

場所：大会：群馬音楽センター(群馬県高崎市)

漁業者(会員漁連の傘下漁協組合員
漁業者以外の購読者)

年間契約「四回発行」定価三〇〇〇円(本体二七七八円送料サービス)
年間契約「一回発行」定価三二〇〇円(本体二九一〇円送料サービス)

単品定価七五〇円(本体六八二円送料別)
単品定価八〇〇円(本体七二八円送料別)

CONTENTS

巻頭言	2	内水面漁業の活性化に向けて	22
全内漁連開催の各会議について		漁協組合員を紹介します	23
総務委員会・理事会を開催	4	内水面漁協(第40回)	24
ブロック会議を開催	4	愛しきアユ(第43回)	25
外来魚対策の第1回検討委員会を開催	6	ウナギ生息環境改善支援事業	26
やるぞ内水面事業の内水面漁場管理検討協議会・現地調査を実施	6	水産多面的機能発揮対策支援事業	27
第22回全国川づくり標語コンクール	8	日光支所から	28
第46回全国養鱒技術協議会大会・第54回養鱒振興全国大会	10	2023年漁業センサスにご協力をお願いします	29
第3回内水面漁協経営セミナー	11	新会長の紹介	30
やるぞ内水面!～漁協の釣り場づくりと遊漁者を増やす取り組み～	12	業務日誌	30
我が漁協(群馬県 赤城大沼漁協)	16	職員のつばやき	31
気になる研究結果(栃木県水産試験場)	18	新聞記事から	31
濁らない河川工事は「できません」・・・けれど	20	編集後記	31

日光支所から



湯ノ湖湯川解禁

令和5年5月1日午前5時に打ち上げ花火の合図と同時に湯ノ湖・湯川の釣りが解禁を迎えました。解禁と同時に釣り大会「解禁トラウトフィッシングフェスタ」を行いました。



解禁日の湯ノ湖の様子



解禁日当日は、快晴に恵まれ絶好の釣り日和となりました。60cmを超える大型ニジマスや30cmを超えるヒメマスが釣れ上がり、釣果は上々でたいへん盛

湯川湿原保護柵整備

奥日光の戦場ヶ原を流れる湯川沿いは、ほとんどが温原で、それらを保護するため平成26年に柵が設置されました。経年劣化や台風、熊の被害などによる柵の破損が顕著なことから、現在の点検と整備が進められています。

5月には、環境省の日光国立公園管理事務所に日光支所長も同行し整備箇所を確認しました。柵を設置したことで効果が得られ湿原の植物が復元されている箇所については、景観を考慮して柵を撤去する事になりました。湯川で釣りをする方々に、引き続き湿原の保護にご協力頂くよう周知を行ってまいります。



点検をする様子



解禁日の湯滝での釣りと満開の桜

り上がりのある大会となりました。今年の奥日光は例年に無いくらい日中は暑い気温となり、湯川でも、解禁から湯滝の桜が満開となりました。解禁当初は、例年より冬の降雪量が少なかったことから水量は少なくやや白濁りがありました。釣りに影響がない程度のように見えました。また、卒後の5月の解禁よりユスリカが水面でハッチする姿が見られ、釣果も良いスタートとなりました。

カワウの全国一斉対策の取り組みについて(第10回)

第10回目となる本年度は、令和5年4月29日(土)を全国統一行動日として実施し、全国で41都府県42団体、359漁協、約7,600人の参加がありました。

なお、地域によって飛来時期が異なるため、前後1か月程度の期間を設けて取り組みを行いました。今年度も、新型コロナウイルスの感染予防対策をして取り組みを行うようご協力いただきました。

●被害状況の現状

カワウによる被害の例としては河川等でのアユ、ウナギ、ウグイ等の食害、糞による樹木枯死等が挙げられ、令和3年は50千羽で93億円と推定されました令和5年4月更新)。

●目的と実施内容等

これまでも内水面漁業関係者は、カワウの追払いや駆除等の取組を行ってきましたが、カワウは広域に移動することから、全国の内水面漁連が連携して広域かつ総合的な対策を行う事が重要との認識に至りました。その一環として全内では、平成26年度から全国統一行動日を定め、カワウの一斉対策を実施しています。取組の内容は、河川や湖沼周辺の生息・飛来状況調査、魚の放流場所でのテグス張り等の防除、銃器による駆除、ドローンを使った営巣木への生分解性ビニルテープ張りやドライアイスによる繁殖抑制等です。

カワウ対策は、これまでも各地域で実施されていますが、広く国民に周知するためにも一斉対策日を設定して活動することに大きな効果があると考え、全国的な取組を継続しています。

新会長の紹介

各県漁連の会長が交代されましたのでお知らせ致します。



鈴木 敏夫氏



吉村 正男氏



木下 優喜氏

漁連名	前任者氏名	新会長氏名	就任
静岡県内漁連	森田 禮治	すずき としお 鈴木 敏夫	令和5年3月
高知県内漁連	林田 千秋	よしむら まさお 吉村 正男	令和5年4月
日本養鰻漁連	外山 昭廣	きのした ゆうき 木下 優喜	令和5年6月



満足度
グーンとUP!!

遊漁券販売だけじゃない!
漁協運営を
徹底的にサポート!

▶ 導入費0円!
▶ 他サービスとの併用可能!

つりチケ運営事務局：052-861-2286 / support@tsuritickets.com